

10月も折り返しを過ぎ、日照時間も徐々に短くなるにつれて、秋の涼しさが増すこの頃です。今月に入って2度台風が襲来しましたが、越美山系砂防事務所管内では幸いにも大きな被害は無く、揖斐川流域の住民を対象とした広報イベント「里山探検隊」も、予定どおり無事に実施する事ができました。

## 台風第19号が岐阜県内を通過

日本列島を縦断するように進んだ台風第19号は、10月13日の夜から14日未明にかけて岐阜県内を通過しましたが、管内の降水量は150mm前後、時間最大雨量も30mm程度と比較的降雨も少なく、幸いにも、事務所管内において土砂災害などの被害や、当事務所で施工中の工事現場における被害はありませんでした。

## 第3回「里山探検隊」を実施

台風の影響が心配された、今年度第3回目の里山探検隊を10月15日に実施しました。今回は「根尾川筋における過去の土砂災害現場を見学し、土砂災害や地震の恐ろしさを実地に体験するとともに、土砂災害対策を学ぶ」をサブテーマに、本巣市の根尾川流域を訪れ、敷原谷（しきはらたに）第1砂防堰堤等の砂防堰堤や、上葛谷（かみくずたに）砂防堰堤の補強工事現場等を見学しました。また、国内最大規模の直下型地震である濃尾地震を起こした根尾谷断層について、地震断層観察館において学び、3Dシアターで地震体験をしていただきました。

事務所到着後閉校式を行い、今年度の里山探検隊の活動を終了しました。参加者からは「治山、治水の大切さを理解する事が出来た。」「今後、自分でも砂防等の防災について勉強していきたい。」「などの感想をいただきました。参加された方々や活動に対応いただいた施設・工事現場の皆様のご協力に、心より感謝申し上げます。



上葛谷の現場ではヘルメットを装着して見学



宇津志谷第1砂防堰堤

## 既設堰堤の機能アップ = 坂内流木 =

坂内川流木対策工事では、土砂災害や流木災害を防止するための工事を2箇所で行います。1箇所は流木の捕捉機能を高める工事として、揖斐川町坂内坂本（さかうちさかも）地先の寒谷（さむたに）第1砂防堰堤に鋼製流木止めを設置する工事です。もう1箇所は、土砂の捕捉量をアップさせるための工事として、揖斐川町坂内広瀬（さかうちひろせ）地先の坂内砂防堰堤に堆砂する土砂の掘削及び搬出する工事を行います。本工事の施工は西建産業㈱が行います。



寒谷第1砂防堰堤



坂内砂防堰堤

## 工事車両の安全走行に心がけています

本年度内に完成を目指す工事が、上記の坂内川流木対策工事をもって全て契約されました。現在、当出張所管内で工事が行われている箇所は、全部で15箇所となります。工事の実施にあたっては、生コン等の資材搬入や掘削土砂の搬出など、生コン車やダンプトラック等を用いています。その際、現場周辺では、集落内の町道等をやむを得ず通過する場合があります。安全には十分注意し、徐行しながら走行しますので、ご理解とご協力をお願いします。なお、当出張所で使う工事車やダンプトラック等の車両には、写真の様に黄色い識別マスクをフロントに掲げて走行しています。お気づきの点がございましたら、当出張所までご連絡して下さい。



識別マスクを装着して走行する生コン車

## きれいな川を次世代へ ~クリーン大作戦

10月18日に「川と海のクリーン大作戦」が催されました。当事務所からも岩男事務所長を始め、7名が参加をし、揖斐川の岡島橋付近にて、河川敷の清掃活動に取り組みました。特にプラスチック用品は腐らないため、拾い上げた分だけ、きれいな川を見続けられる事につながります。



爽快な秋晴れの中で行いました



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。また、クマタカ通信の感想やご意見もお待ちしています。

発行 国土交通省中部地方整備局  
越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所  
〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3  
Tel: 0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626  
E-mail: [ibigawasabo@cbr.mlit.go.jp](mailto:ibigawasabo@cbr.mlit.go.jp)